

造血幹細胞移植医療体制整備事業 沖縄ブロック
令和3年度 第1回セミナー 造血幹細胞移植BASIC
アンケート結果報告



案内方法

- 県内関連病院(クリニック)466施設へのパンフレット郵送
→7施設閉院のため 最終459施設
- 造血幹細胞移植医療体制整備事業HPへの掲載
- 琉大病院 院内掲示板・電子掲示板への掲載
- 琉球大学病院HP,SNS(Twitter, Facebook)への掲載
- メールでの直接案内(移植関係者)



琉球大学病院
9月12日

【第二内科】令和3年9月18日(土)に造血幹細胞移植に関するオンラインセミナーを開催します。
移植について知りたい医療従事者の皆さまの参加をお待ちしております。
お申込みはこちらから <https://forms.gle/ow1Pr8wZMkxEeeP6A>

厚生労働省 造血幹細胞移植医療体制整備事業
令和3年度 第1回 造血幹細胞移植推進拠点病院 沖縄ブロックセミナー

沖縄ブロック
造血幹細胞移植 BASIC

配信予定
9月18日(土)
14:00~15:30

Zoomを使用したオンラインで開催します。
医師・看護師・その他移植について知りたい医療従事者の皆様の参加をお待ちしております。

開会のあいさつ 琉球大学病院 小児科 講師/診療教授 百名伸之先生

座長 琉球大学病院 第二内科 講師 仲地 佐和子 先生

演題1
『沖縄県における造血幹細胞移植医療の充実を目指して
：拠点病院としての役割』

演者 琉球大学大学院医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座(第二内科)准教授
造血幹細胞移植医療体制整備事業 実施責任者 森島 聡子 先生

演題2
『学ぼう！血液がんの患者を救う 造血幹細胞移植』

演者 琉球大学病院 第二内科 特命助教 北村 紗希子 先生

閉会のあいさつ 琉球大学病院 第二内科 講師 仲地 佐和子 先生

申し込み方法
URL(<https://forms.gle/ow1Pr8wZMkxEeeP6A>) or 右記 QR コードから
参加申し込みフォームにアクセスして頂き、必要情報をご入力ください。
後日、担当よりセミナー参加用 Zoom URL を送付致します。
※事務局からの返信がない場合は、下記「問い合わせ」番号に直接お電話ください。

参加費 無料

申し込み締切 9月17日 17時まで

お問合せ 琉球大学病院 第二内科医局内

琉大病院公式Facebook

シェア1件

いいね! コメント シェアする

アンケート結果

セミナー事前登録者数

84名

セミナー参加者数

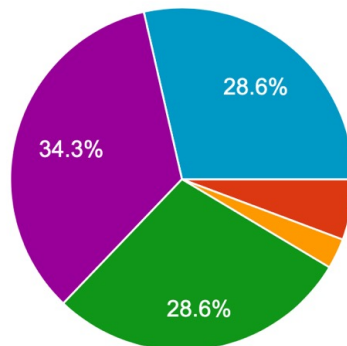
73名

アンケート回答者数

35名

このセミナー実施をどのようにして知りましたか。

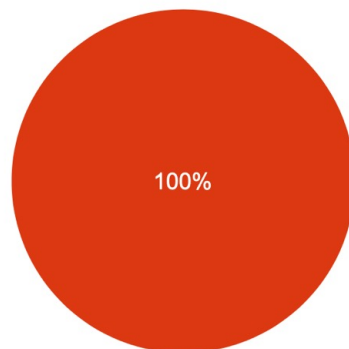
35件の回答



- 造血幹細胞移植医療体制整備事業 沖縄ブロックホームページ
- 琉球大学病院 ホームページ
- SNS(Facebook, Twitterなど)
- 琉球大学病院 院内ポスター・電子掲示板
- 職場に届いたポスター(郵便物)
- 知人からの紹介

セミナー開催時期

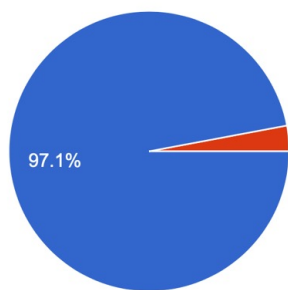
35件の回答



- 遅い
- 適切
- 早い

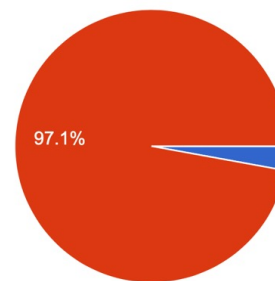
アンケート結果

講演1(森島聡子先生の講演)内容についての満足度
34件の回答



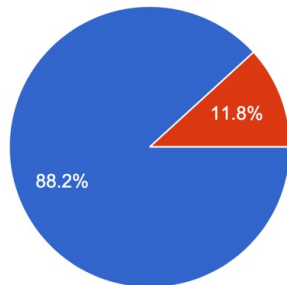
- 分かりやすかった・満足
- 普通
- 分かりにくかった・不満

講演1(森島 聡子先生の講演)所要時間について
35件の回答



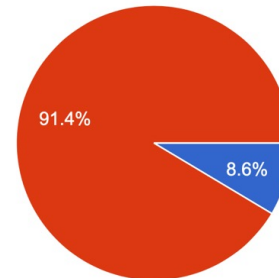
- 短い・もっと聞きたかった
- 適切
- 長い

講演2(北村 紗希子先生の講演)内容についての満足度
34件の回答



- 分かりやすかった・満足
- 普通
- 分かりにくかった・不満

講演2(北村 紗希子先生の講演)所要時間について
35件の回答



- 短い・もっと聞きたかった
- 適切
- 長い

アンケート結果(コメント抜粋)

Q1. このセミナーのどのような点が特に役立ちましたか？

- A1. 骨髄移植治療の適応症例を例示してもらった点
- A2. 沖縄県における移植の背景を知ることができたこと。
移植前、移植、移植後の流れや実際の症例を拝見できたこと。
- A3. 沖縄県内で同種幹細胞移植ができるようになった事で県外に行かなくて済んでいる事や臍帯血など緊急性がある移植も県内にいて出来ている現在でこれからの課題が地域への移植後フォローである事、多職種が連携して行っていく事。
- A4. 専門的な知識が無くても、分かりやすい内容で良かったです。
今後は、コーディネーター等の人材育成や他医療機関との連携強化が必要だという事がわかりました。
- A5. 理学療法学科に所属している学生です。移植について興味があり受講させていただきました。受講前と比較し、移植の現状や退院までの一連の流れがイメージできるようになりました。セラピストも関わる領域ということで、とても学びになりました。ありがとうございました。

アンケート結果(コメント抜粋)

Q2.このセミナーのどのような点を改善した方がよいと思いますか。

A1.質疑応答についてある程度根回し的に準備しておく和良好的と思います。

A2.幹細胞移植はチーム医療で行っていると思うので、
医師（血液内科、小児科、放射線科etc）看護師、薬剤師、診療放射線技師、リハビリなどの
話も聞いてみたい。全職種参加型の会にしていきたい。

A3.マイクミュートの自動設定があったほうが更にいいと思います。

A4.移植前にセラピストにできることがあるのか気になりました。

A5.セミナーの対象者をある程度設定すると良いと思います。

今回は沖縄県での造血幹細胞移植の歴史と造血幹細胞移植の一般的な内容で、
前者は移植に関係する医療従事者向け、後者は患者さんなど一般の方向けという印象を受けました。

アンケート結果(コメント抜粋)

Q3.次回セミナーでは、どのようなテーマで講演してほしいですか。

A1.小児の移植についても知りたいです

A2.第二内科の先生方の現在研究中の事象を支障がない範囲で講演して欲しい。

A3.幹細胞移植の全体の流れを教えてください。

①診断に至るまでの検査について

②幹細胞移植をするかどうかの判断基準

③移植前処置（化学療法・放射線療法etc）の具体的な処置（治療）方法

④輸注の実施から生着まで

⑤生着後の生活環境、リハビリ、合併症について

A4.病気回復後の生活支援など

A5.沖縄県全体の疾患別、年代別の患者数の年次変化や移植状況など、統計データが知りたいです

A6.移植ソースの選択について悩むような状況で、どのように選択するかのお話など

A7.チーム医療をテーマにして欲しいです。

看護師やコメディカルと具体的にどのように連携を図っているのかが知りたいです。

アンケート結果(コメント抜粋)

Q4.その他(自由記載欄)

- A1.北村先生のような最前線にいる先生の話はとても興味深く、今後の治療法の改善・進化も期待できそうだなと思いました。
- A2.骨髄移植は内科でも専門領域で遠い印象でしたが、先生方の長年の努力の積み重ねで地域の病院に帰って来れる疾患になったこと、分かりました。
今後このような広域のセミナーが活用されて、将来的には生活習慣病のように、診察を引き継ぎできるようになればうれしいです。
- A3.普段、臨床の様子があまり見えないのでとても貴重なお話が聞けて光栄です。
移植に関わる検査の中でも輸血や血液検査を担当する臨床検査技師に、先生方がこのようにチーム医療に貢献してほしいと考えることはありますか。
私が未熟ながら考えられることの一つは、適切な骨髄材料を判断できることです。
もし先生方の考えがありましたらお聞きしたいです。
- A4.個人的にLTFU外来がどのように行われているか、見学などできるかをお聞きしたいです。
- A5.治験CRCです。治験でATL患者さんと接点があり受講しました。通常診療での接点がないため大変、勉強になりました。コロナ終息後もハイブリットでのWeb開催を続けていただけると参加しやすいです。どうもありがとうございました。

アンケートでいただいた質問への回答

A3. 普段、臨床の様子が見えないのでとても貴重なお話が聞けて光栄です。移植に関わる検査の中でも輸血や血液検査を担当する臨床検査技師に、先生方がこのようにチーム医療に貢献してほしいと考えることはありますか。私が未熟ながら考えられることの一つは、適切な骨髄材料を判断できることです。もし先生方の考えがありましたらお聞きしたいです。

→御質問ありがとうございます。

造血幹細胞移植において、検査分野のお仕事は大変重要です。

骨髄検査や血液検査は結果をもとに、治療方針を決定することも多く、重要な検査です。

また、患者とドナーの血液型が異なる移植の場合は、血液型の変化も注意しなくてはいけないので、検査技師さんがそのことを理解し、正しく判断されることが必用です。

造血細胞移植も含めて血液疾患の診療における各検査の意義や重要性について、

セミナーなどを通してお伝えしたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

A4. 個人的にLTFU外来がどのように行われているか、見学などできるかをお聞きしたいです。

→御質問ありがとうございます。

当院のLTFU外来の見学については、現在実施内容を検討中です。

見学を御希望の場合は、当事業ホームページのお問い合わせフォームより御連絡ください。

よろしく願いいたします。

多くのご参加誠にありがとうございました
皆様からいただいた貴重なご意見を参考に
沖縄ブロック 移植拠点病院として
今後の活動に繋げて参ります

